

入門マニュアル



# WAVELAB LE7

Audio Editing And Mastering Software



Getting Started texts by Martin Ley.

Revision and quality control: Cristina Bachmann, Heiko Bischoff, Marion Bröer, Sabine Pfeifer, Heike Schilling.

本書の記載事項は Steinberg Media Technologies GmbH 社によって予告なしに変更されることがあり、同社は記載内容に対する責任を負いません。本書で取り扱われているソフトウェアは、ライセンス契約に基づいて供与されるもので、ソフトウェアの複製はライセンス契約の範囲内でのみ許可されます (バックアップ コピー)。Steinberg Media Technologies GmbH 社の書面による承諾がないかぎり、目的や形式の如何にかかわらず、本書のいかなる部分も記録、複製、翻訳することは禁じられています。

本書に記載されている製品名および会社名は、すべて各社の商標および登録商標です。

Windows XP、Windows Vista、および Windows 7 は、Microsoft 社の商標です。

Macintosh、Mac OS、および iTunes は、アップル社の登録商標です。

© Steinberg Media Technologies GmbH, 2010.

All rights reserved.

## 目次

5	<b>はじめに</b>
6	WaveLab LE の世界へようこそ
6	プログラムのバージョンについて
6	記述について
8	ヘルプシステムについて
8	Steinberg 社の Web サイトへのアクセス方法
9	<b>インストールと設定</b>
10	最小システム要件
10	コピー防止
11	WaveLab LE のインストール
11	ソフトウェアの登録
11	アプリケーション環境設定
12	<b>クイックツアー</b>
13	概要
13	WaveLab LE ユーザーインターフェース (GUI)
14	マスターセクション
15	オーディオファイルワークスペース
16	オーディオモニタージュワークスペース
17	Podcast ワークスペース

# 1 はじめに

## WaveLab LE の世界へようこそ

このたびは WaveLab LE をお選びいただきましてありがとうございます。

このソフトウェアは、入門レベルの製品であり、プロフェッショナルなオーディオ編集の世界へ足を踏み入れるための第 1 歩をカバーする機能を網羅しています。WaveLab LE を使用すると、CD 品質のオーディオ素材を 2トラックで編集できるだけでなく、Steinberg 社のプロフェッショナル用音楽ソフトウェア、Cubase に含まれるエフェクトを含む、10 個を超えるプラグインを利用して、録音データをよりよいものに仕上げることができます。また、統合 Podcast 機能により、音楽や録音ボイスをインターネット上で共有することができます。

この特別バージョンのほかに、より豊富な機能を持つ上位バージョンの WaveLab Essential 7 と WaveLab 7 があります。

WaveLab 製品シリーズの詳細については、<http://japan.steinberg.net/> を参照してください。

Steinberg チーム一同

## プログラムのバージョンについて

このマニュアルには、Windows と Mac OS X、両方のオペレーティングシステム用の内容が記載されています。

Windows、Mac OS X のうち、一方のバージョンでしか利用できない機能や設定は、どちらのバージョンに特有かが明記されています。

⇒ **バージョンに関する記述がない場合は、Windows と Mac OS X の両バージョンに当てはまります。**このマニュアルでは、Windows バージョンの WaveLab LE のスクリーンショット (画面キャプチャー) 画像が使用されています。

## 記述について

### キーボードショートカットの記述について

WaveLab LE では、多くのデフォルトキーボードショートカットに修飾キーを使用しており、一部の修飾キーはオペレーティングシステム (OS) によって異なります。たとえば、「元に戻す」のデフォルトキーボードショートカットは、Windows の場合は [Ctrl]+[Z] キー、Mac OS X の場合は [Command]+[Z] キーです。

このマニュアルでは、修飾キーを使用したキーボードショートカットを記述する場合、以下のとおり、Windows の修飾キーを最初に表記します。

[Windows 修飾キー]/[Mac 修飾キー]+[キー]

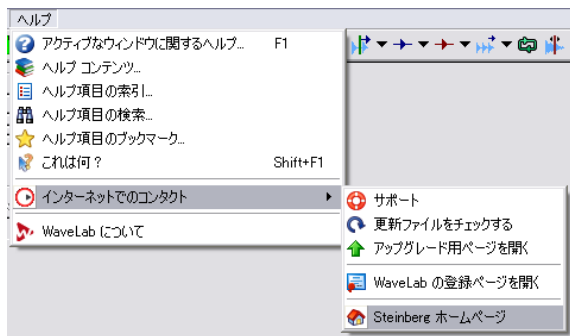
以下に例を示します。

- [Ctrl]/[Command]+[Z] と記述されている場合、Windows の場合は [Ctrl] キーを、Mac OS X の場合は [Command] キーを押しながら [Z] キーを押します。
  - 同様に、[Alt]/[Option]+[X] と記述されている場合、Windows の場合は [Alt] キーを、Mac OS X の場合は [Option] キーを押しながら [X] キーを押します。
- ⇒ このマニュアルでは、「右クリック」と呼ばれる操作がよく出てきます (コンテキストメニューを開く場合など)。アップル社製コンピュータで、シングルボタンのマウスを使用している場合、[Ctrl] キー + クリックが「右クリック」と同じ操作になります。

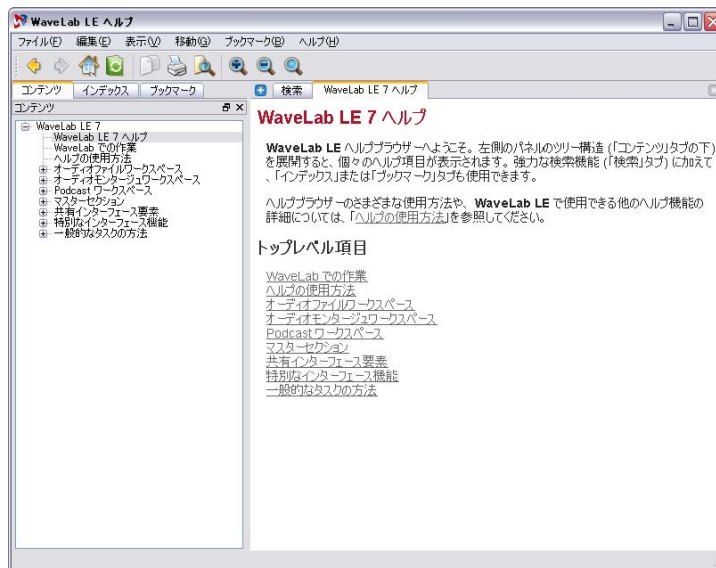
## メニューオプションの選択

メニューの選択は、以下のように記述しています。

- ・「ヘルプ」>「インターネットでのコンタクト」>「Steinberg ホームページ」と記述されている場合、以下の操作を意味します。
1. メニューバーの「ヘルプ」メニューをクリックします。
  2. 「インターネットでのコンタクト」サブメニューを開きます。
  3. 「Steinberg ホームページ」オプションを選択します。



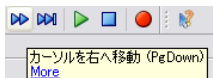
## ヘルプシステムについて



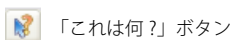
このマニュアルには、WaveLab LE を初めて使用するために知っておくべき内容がすべて記載されています。ただし、機能やワークフローについては詳しく説明していません。これらの内容はヘルプシステムに含まれています。このヘルプシステムは、さまざまな情報を含み、状況に応じて関連した項目が表示されます。

ヘルプは、以下の方法で開くことができます。

- アイコンまたはフィールドにポインターを合わせ、ツールチップを表示させます。多くの場合、ツールチップウィンドウの下には「More」リンクがあり、これをクリックすると、詳細情報を表示できます。



- WaveLab LE のユーザーインターフェースの特定のボタンやフィールドなどに関するヘルプを表示するには、「これは何？」ボタンをクリックするか、[Shift]+[F1] キーを押すか、または「ヘルプ」>「これは何？」と選択します。  
カーソルがクエスチョンマークに変わります。ユーザーインターフェース内のアイテムをクリックすると、関連する情報が WaveLab LE のヘルプに表示されます。



「これは何？」ボタン

- 現在アクティブなウィンドウに関するヘルプを表示するには、[F1] キーを押すか、または「ヘルプ」>「アクティブなウィンドウに関するヘルプ ...」と選択します。
- WaveLab LE のフルオンラインヘルプにアクセスするには、「ヘルプ」>「ヘルプコンテンツ」、 「ヘルプ」>「ヘルプ項目の索引 ...」、または「ヘルプ」>「ヘルプ項目の検索 ...」と選択します。  
ヘルプは全文検索可能です。頻繁に参照するヘルプトピックは、ブックマークに保存できます。

## Steinberg 社の Web サイトへのアクセス方法

WaveLab LE の「ヘルプ」メニューから、詳細な情報やヘルプにアクセスできます。

- 「ヘルプ」 > 「インターネットでのコンタクト」と選択すると、Steinberg 社のさまざまな Web サイトへのリンクがあります。いずれかのリンクを選択すると、ブラウザが自動的に起動し、該当のページが開きます。  
製品に関するサポートや互換性の情報、FAQ、最新ドライバーのダウンロードのリンクなどにアクセスできます。Web サイトにアクセスするには、コンピューターに Web ブラウザーがインストールされ、インターネットに接続されている必要があります。



**2**

**インストールと設定**

## 最小システム要件

WaveLab LE を使用するには、コンピューターが以下の最小要件を満たしている必要があります。


### Windows

- Windows 7
- 2GHz の CPU
- 1024MB の RAM
- Windows MME または ASIO 準拠のオーディオハードウェア
- DVD-ROM ドライブ
- 200MB のハードディスク空き容量
- 1024x768 ピクセルのディスプレイ解像度

### Macintosh

- Mac OS X 10.6
- Intel 社製 CPU
- 1024MB の RAM
- Core Audio 準拠のオーディオハードウェア
- DVD-ROM ドライブ
- 200MB のハードディスク空き容量
- 1024x768 ピクセルのディスプレイ解像度

## システムの設定方法に関する一般的な注意事項

 Steinberg 社の Web サイトには、オーディオ制作専用のコンピューターシステムを設定する場合に考慮すべきポイントが詳しく紹介されています。Steinberg 社 Web サイトの「Support」ページにある「コンピューター環境について」リンクをクリックしてください。

- RAM: メイン RAM の容量は、同時に開くことができるウィンドウとファイルの数に直接影響します。  
前述の RAM 容量は必要最小限の値です。基本的に、RAM 容量が大きいほど、より快適な動作が得られます。
- ハードディスクの容量: ハードディスクの容量によって、録音できるオーディオの長さが決まります。  
オーディオファイルのサイズは比較的大きくなります。ステレオ 16 ビット /44.1kHz のオーディオを 1 分間録音すること、約 10.6MB のハードディスク容量が使用されます。24 ビット /48kHz 以上のオーディオの場合、オーディオファイルのサイズはさらに大きくなります。そのため、ハードディスクに録音用の十分な空き容量を確保することをおすすめします。

- ハードディスクの速度: ハードディスクの速度によって、WaveLab LE の読み取り / 書き込み動作の速度 (オーディオファイルの処理速度) が決まります。

ハードディスクの速度とは、一定の時間にハードディスクが読み取ることができる情報の量で、一般に「連続転送速度」と呼ばれます。この値が大きいほど、より快適に使用できます。

- ホイールマウス: WaveLab LE は、ホイールの付いていないマウスでも問題なく使用できますが、ホイールマウスを使用することをおすすめします。  
値の設定やスクロールなどの操作を大幅に速く行なえるようになります。

## サウンドカード (オーディオインターフェース) について

以下のことに注意してください。

- WaveLab LE で高い精度が求められる作業を行なう場合、MME または ASIO 準拠のドライバー (Windows) または Core Audio 準拠のドライバー (Mac) を使用することをおすすめします。
- WaveLab LE と他のハードウェア (独自のオーディオコンバーターを搭載したハードディスクベースの録音システムなど) を使用してファイルを編集する場合、WaveLab LE でファイルを聴くと、(サウンドカードの性能不足により) オーディオ品質が低下することがあります。ただし、最終的なオーディオファイルに影響はありません。
- プロフェッショナル用途 (マスタリングなど) には、24 ビット分解能でファイルを再生できるサウンドカードを使用することをおすすめします。

## コピー防止

WaveLab LE には、ソフトウェアベースのコピー防止機構があります。Soft-eLicenser と呼ばれるこの機構は、WaveLab LE のインストール時に自動的にインストールおよびアクティベートされます。

## WaveLab LE のインストール

インストールプロセスにより自動的にすべてのファイルが展開され、適切な場所に追加 / 設定されます。

1. ディスクドライブにインストールディスクを挿入します。  
ディスクの WaveLab LE Start Center プログラムが自動的に起動します (システムの設定によります)。プログラムが起動しない場合、ディスクの内容を開き、WaveLab LE Start Center のアイコンをダブルクリックして、プログラムを起動します。
2. 国旗をクリックして言語を選択します。
3. 「インストール」 ボタンをクリックします。
4. 画面に表示される指示に従って操作します。
5. インストールが正常に完了したこと示すメッセージを確認したら、「Close」 ボタンをクリックします。  
このとき、Start Center に格納されている追加のオプションと情報を参照できます。
6. 「Start Center」 ウィンドウの右下にある 「Exit」 ボタンをクリックして、Start Center アプリケーションを終了します。
7. インストールディスクを取り出します。

## 手動インストール

Start Center プログラムを使用せずに WaveLab LE を手動でインストールする場合は、以下の手順を実行してください。

1. インストールを開始します。  
Windows: Setup.exe ファイルをダブルクリックします。  
Macintosh: WaveLab LE 7.mpkg ファイルをダブルクリックします。
2. 画面に表示される指示に従って操作します。

## ソフトウェアの登録

ソフトウェアの登録を行なうことをおすすめします。ソフトウェアの登録を行なうと、WaveLab LE の更新情報やその他の最新情報を入手したりできます。

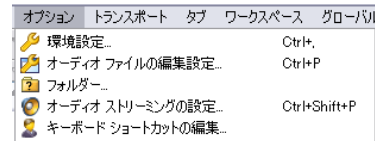
登録手順は以下のとおりです。

[http://service.steinberg.de/goto.nsf/show/register\\_j](http://service.steinberg.de/goto.nsf/show/register_j) にアクセスし、ユーザー専用の MySteinberg オンラインカスタマーポータルにログインし、画面に表示される指示に従って製品の登録を行ないます。

## アプリケーション環境設定

WaveLab LE は細かい設定が可能です。「オプション」メニューから、すべての環境設定ダイアログボックスを表示できます。

メニューが日本語で表示されていない場合は、メニューの「Option」 > 「Global Preference」を開き、「General」タブの「Language」で「Japanese」を選択して「OK」をクリックします。そのあと、WaveLab LE を再起動すると、メニューが日本語で表示されます。



- 環境設定 ...  
このダイアログボックスでは、WaveLab LE アプリケーションとそのワークスペース全体に適用される設定 ( 言語、ユーザーインターフェース、スタートアップオプションなど ) を行なうことができます。
- オーディオファイルの編集設定 ...  
このダイアログボックスでは、編集 ( 波形表示、小幅反復再生機能、選択範囲をゼロクロッシングにスナップなど )、ファイル形式 ( 32 ビットなど )、およびスタイル ( 波形、背景、その他の要素の色 ) の設定を行なうことができます。
- フォルダー ...  
このダイアログボックスでは、さまざまなタイプのファイル ( 一時ファイル、オーディオファイル、および Podcast ) を保存したり開いたりする優先フォルダーを設定できます。また、これらのファイルを自動的に更新するかどうかを制御できます。
- オーディオストリーミングの設定 ...  
このダイアログボックスでは、録音および再生に使用するオーディオデバイス、およびバッファ数やプリロール / ポストロール時間などのさまざまなオプションを指定することができます。
- キーボードショートカットの編集 ...  
このダイアログボックスでは、独自のショートカットの作成を行なえます。多くのショートカットは状況によって内容が変わることに注意してください。

**3**

**クイックツアー**

## 概要

この章では、WaveLab LE のいくつかのメインウィンドウの概要を説明します。

### WaveLab LE ユーザーインターフェース (GUI)

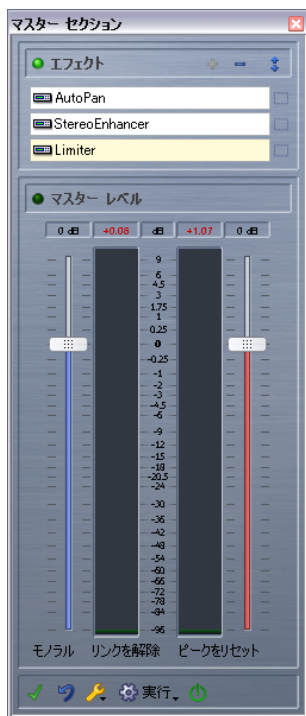
WaveLab LE は高いカスタマイズ性があります。ワークスペースを思い通りに設定することができます。

- WaveLab LE のパネルを自由にドラッグして、メインアプリケーションウィンドウ内の別の場所にドッキングできます。ぜひ試してみてください。
- 必要であれば、パネルを別々のウィンドウとしてフローティング表示することもできます。
- WaveLab LE では、タブも使用されます。  
複数のオーディオファイルを開いている場合、それらのファイルが別々のウィンドウではなく、メインアプリケーションウィンドウの各タブセクションに表示されます。

## マスターセクション

マスターセクションは、WaveLab LE シグナルパスの最後、オーディオ素材をオーディオデバイスに転送する前、またはオーディオファイルとしてディスクにレンダリングする前に使用します。マスターセクションでは、マスターボリュームの設定およびグローバルエフェクトの追加を行ないます。マスターセクションには、以下のものが含まれます。

- 3つのエフェクトスロット
- マスターレベルフェーダー
- 最終のオーディオマスターファイルを作成するためのレンダリング機能



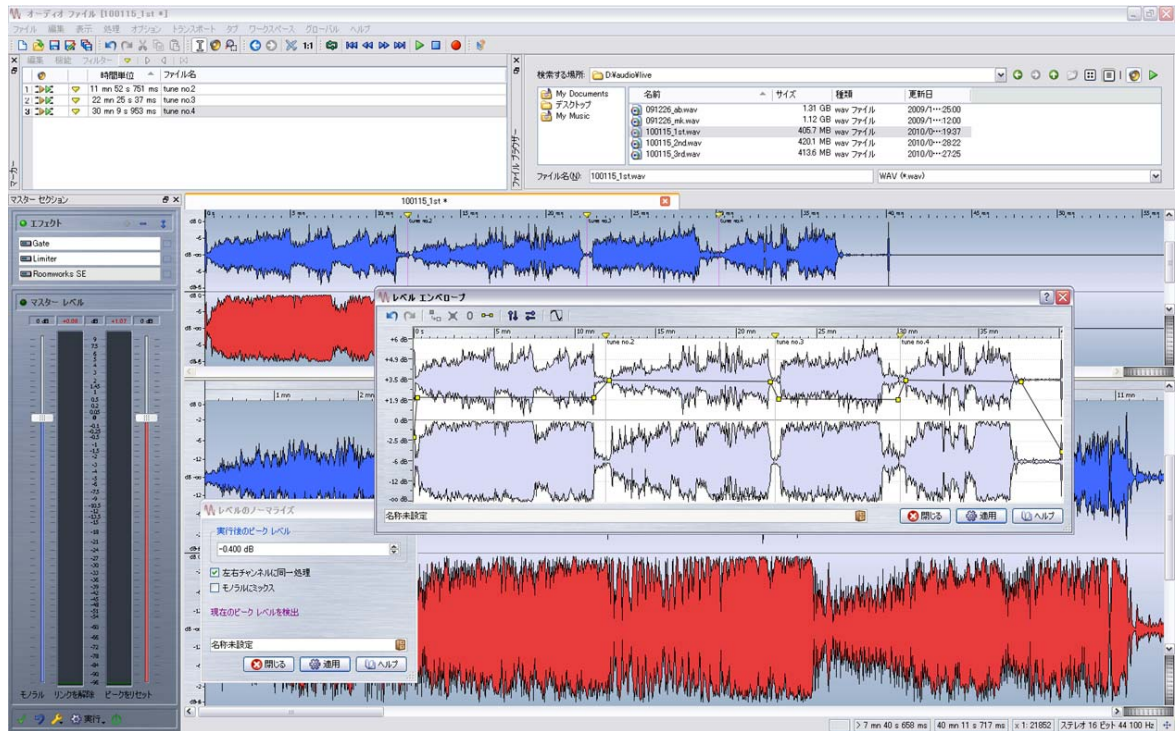
マスターセクションは「共有ツール」であり、オーディオファイルワークスペースとオーディオモニタージュワークスペースで共有されます。これらのワークスペースはどちらか一方、または両方同時に開くことができますが、マスターセクションがアクティブになるのは1つのワークスペースだけです。

マスターセクションの表示方法は自由に制御できます。

- マスターセクションは独立したフローティングウィンドウとして表示するか、またはフレーム内でオーディオファイルワークスペースとオーディオモニタージュワークスペースにドッキングして表示することができます。
- 「アクティブ」なワークスペース (マスターセクションを現在所有するワークスペース) を前面に表示するには、「グローバル」> 「マスターセクション」と選択します。
- オーディオファイルワークスペースまたはオーディオモニタージュワークスペース内のマスターセクションフレームを表示または非表示にするには、「ワークスペース」> 「共有ツールウィンドウ」> 「マスターセクション」と選択します。

この共有ツールウィンドウは、ドッキングまたはフローティング表示できます。2つのワークスペースを同じ設定にする必要はありません。たとえば、マスターセクションをオーディオファイルワークスペースではドッキングし、オーディオモニタージュワークスペースでは非表示、などとすることができます。

## オーディオファイルワークスペース



オーディオファイルワークスペースは、個別のオーディオファイルで作業するときのメインエディターになります。

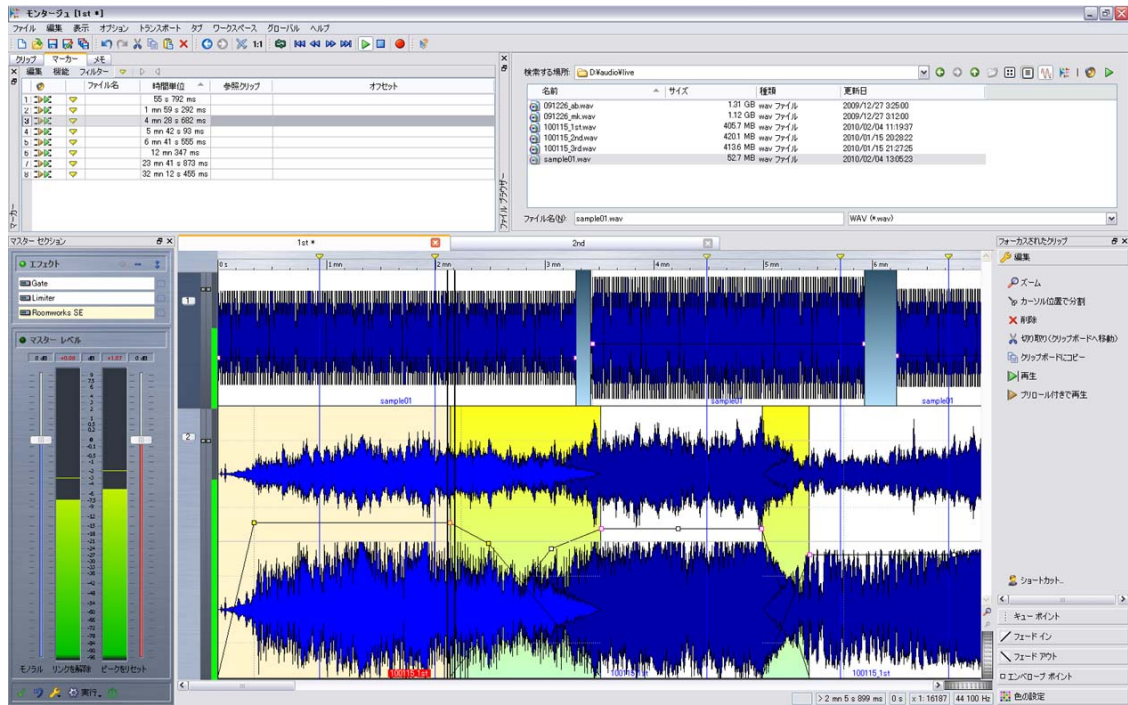
WaveLab LE では、さまざまなフォーマットのオーディオファイルを開いたり、編集したり、保存したりできます。操作はいつでも元に戻すことができます。オーディオセクションの切り取り、コピー、ペーストができるだけでなく、ノーマライズなどの処理を行ったり、レベルエンベロープやフェードを作成したりできます。これらの機能は、「編集」メニューおよび「処理」メニューのさまざまなオプションおよびダイアログボックスで使用できます。

オーディオファイルは、以下の方法で「Wave」ウィンドウに開くことができます。

- 「ファイル」> 「開く ...」と選択し、オーディオファイルを参照して「開く」をクリックします。
- WaveLab LE のファイルブラウザーを使用してオーディオファイルを参照し、ダブルクリックしてファイルをロードします。  
WaveLab LE のファイルブラウザーが表示されていない場合は、「ワークスペース」> 「専用ツールウィンドウ」> 「ファイルブラウザー」と選択します。

- Windows エクスプローラー /Mac Finder からドラッグアンドドロップします。

## オーディオモニタージュワークスペース



オーディオモニタージュワークスペースでは、トラックベース (1 モノラル、1 ステレオ、2 モノラル、2 ステレオ、または 1 モノラルと 1 ステレオのトラック) で作業できます。

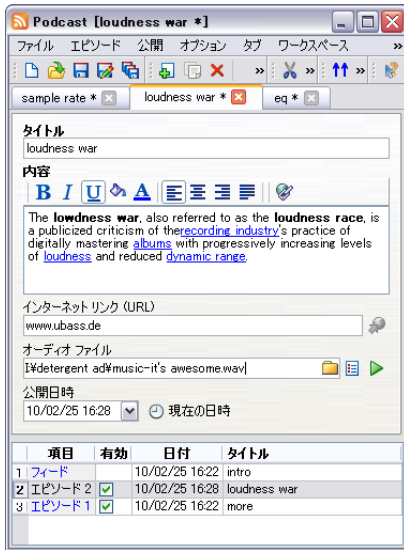
最大 2 つのトラックに複数のオーディオファイルをミックスして、音楽、ラジオドラマ、コマーシャルなどの新しいミックスを作成できます。

新しい (空の) オーディオモニタージュワークスペースを開くか (「グローバル」>「オーディオモニタージュワークスペース」と選択)、またはオーディオファイルワークスペースで編集しているファイルからオーディオモニタージュを作成 (「編集」>「オーディオファイルからオーディオモニタージュを作成...」) と選択) することができます。

オーディオモニタージュは独自のファイル形式 (.mon) で保存されます。



## Podcast ワークスペース



WaveLab LE では、Podcast の形式でオーディオをインターネットで公開できます。Podcast の作成は、簡単で直感的なユーザーインターフェースを使用して WaveLab を終了せずにこなえます。

たとえば、オーディオファイルワークスペースで「オーディオファイル」を編集している場合、「編集」>「オーディオファイルから Podcast を作成 ...」と選択します。オーディオファイルを開いていない場合は、「グローバル」>「Podcast ワークスペース」と選択して新しい Podcast ファイルを作成します。

Podcast は独自のファイル形式 (.pdc) で保存されます。